

# 秋季東北高校野球 あす宮城で開幕 センバツ懸け18校火花



青森第1代表  
八学光星

第73回秋季東北地区高校野球大会は14、20日、宮城野球場で行われる。八学光星、八戸西、弘学聖愛を含む東北6県18校が来春のセンバツ（2021年3月19、31日・阪神甲子園球場）出場を目標としてしきを削る。大会の成績はセンバツ出

場校の選考に当たって重要な資料となる。センバツの東北地区一般枠は「2」。青森県勢3校はいずれも2回戦から登場する。第1代表の八学光星は県大会4試合のチーム打率が3割6分6厘。中軸の佐藤航太、野呂洋翔を中心に破壊力十分で、機動力も鍛えられて

いる。投手陣は、安定感と制球力が自慢の洗平歩人、最速142km/hの横山永遠ら駒が豊富だ。初の東北大会出場となる第2代表の八戸西は188マのエース福島通が県大会5試合で25三振10失点と好投し、チームをけん引した。初戦は、八学光星が「柴田（宮城③）―学法石川（福

島③）」の勝者で、負けたら聖愛は打線が強力な日大山形（山形①）が相手で、粘り強く守って好機を見たい。

大会ではこのほか、仙台育英（宮城）や盛岡大付（岩手）など各県第1代表が奮闘する。

結果を左右しそうだ。弘学聖愛は打線が強力な日大山形（山形①）が相手で、粘り強く守って好機を見たい。

大会ではこのほか、仙台育英（宮城）や盛岡大付（岩手）など各県第1代表が奮闘する。

底、検温など、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で、有観客で行われる。

（上村久徳）

県勢3校の県大会チーム成績

高校	試合数	打数	安打	打率	塁打			得点	打点	四死球	犠打	盗塁	三振	失策	失点
					本	三	二								
八学光星	4	112	41	.366	3	3	6	32	30	27	13	7	13	4	9
八戸西	5	159	59	.371	2	2	7	37	34	25	15	5	27	5	21
弘学聖愛	5	136	36	.264	0	2	4	27	20	30	13	10	34	2	13